

令和5年度 橿原市昆虫館活動報告

橿原市昆虫館

Annual report for the fiscal year 2023 of Kashihara City Museum of Insect

Kashihara City Museum of Insect

令和5年度当初は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に伴い、各活動も例年に比してその開催数や募集人数等を制限したが、5月に感染症法上の位置付けが2類から季節性インフルエンザと同じ5類へ引き下げられたことに伴い、開館時間や入館者数の制限をコロナ禍前の基準に緩和して開館業務を行った。

展示活動

特別展

「やばすぎる！セミ展」

7月19日（水）～10月9日（月・祝） 期間入館者：
30,048名

主担当：池田

トピックス展示

「新種発見！！スズカヒメマルクビゴミムシ」

2月17日（土）～5月6日（月・祝）

新種のホロタイプ標本は2月23日（金・祝）～25日（日）のみ展示

主担当：池田

企画展

「昆虫ってどんな仲間がいるの？～身近な昆虫で見よう～」

1月17日（火）～4月16日（日） 期間入館者：
13,005名

主担当：辻本

普及教育活動

企画・イベント

ミニむし祭り2023

6月4日（日） 参加者：649名

昆虫館入館者300万人達成セレモニー

7月27日（木） 当日入館者：170名

「ゾウ むし」展 ～変な形の昆虫たち～

4月18日（火）～7月17日（月・祝） 期間入館者：
23,824名

主担当：木村

野外観察会

めざせ50種！春の虫さがし

4月23日（日） 参加者：40名

「見つけてみよう・飼ってみよう飛鳥のバツ」

10月11日（水）～1月28日（日） 期間入館者：
16,339名

主担当：辻本

オオムラサキの幼虫観察会

5月21日（日） 参加者：50名

「ハネがあれする これもする！」～昆虫の翅～

1月30日（火）～5月12日（日） 期間入館者：
22,356名

主担当：木村

ホテル観察会

6月17日（土） 参加者：44名

秋の鳴く虫観察会

9月9日（土） 参加者：39名

バッタの観察会 10月14日(土) 参加者:42名	ふれあい体験コーナー 8月6日(日)13日(日)20日(日)27日(日) 期間入館者:3,958名 主担当:池田
冬の虫観察会 1月28日(日) 参加者:45名	クリスマス企画「ふれあいたいけん」 12月23日(土)~12月24日(日) 期間入館者: 307名 主担当:池田
特別展関連企画 セミの羽化を観察しよう! 7月22日(土) 参加者:43名	新春企画「昆虫おみくじ」 1月3日(水)~14日(日) 配布:1,718名 主担当:池田
セミの標本をつくろう! 8月6日(日) 参加者:19名	
来館者300万人達成&特別展「やばすぎる!セミ展」 記念イベント むしむしセミな〜る「セミのおきみやげ」 8月19日(土) 講師:宮武 頼夫氏	連携事業活動 観察会・イベント 「THE KASHIHARA 夏のSDGs イベント」 7月23日(日) ふれあい体験コーナーを開設 参加 者:1,083名 ・連携先:グランドメルキュール奈良檜原
その他イベント 自由研究お役立ちイベント「生き物の名前を調べる会」 8月13日(日) 当日の入館者:1,407名	「ホタルの一生のお話し」 11月11日(土) ・連携先:新沢地区公民館
ミツバチからの贈り物 12月16日(土) 参加者:7名	「千塚 KoFun フェスタ 2023」 11月12日(日) ふれあい体験コーナーを開設 参 加者:263名 ・連携先:檜原市文化財保存活用課
昆虫館バックヤードツアー 2月23日(金・祝) 参加者:60名	「伊丹市昆虫館友の会行事」受け入れ 12月17日(日) 参加者:65名 ・連携先:伊丹市昆虫館友の会
むしムシぜみな〜る「砂の狩人 アリジゴクのおはな し」 3月17日(日) 参加者:42名	しごとフェスタ 2023 8月5日(土) ふれあい体験コーナーを開設 参加 者:568名 ・連携先:奈良労働局(ポリテクセンター奈良)
見学案内 令和5年度「宮崎市・檜原市」児童交流事業 夏休みに宮崎市の児童と交流しよう! 8月3日(木) 参加者:52名	「第51回農業祭」協力 11月23日(木・祝) 檜原神宮内 ふれあい体験コー ナーを開設 ・連携先:檜原市農業祭実行委員会
檜原市特別大使アキ(吉本新喜劇座長)氏、1日昆虫 館長として来館 8月16日(水) 当日入館者:986名	「ホタルの放流会」協力 2月26日(月) ・連携先:天ノ香具山南協議会
新館企画 ビンゴとヘラクレス撮影会 5月3日(水)~5月4日(木) ビンゴ用紙配布431 枚 主担当:池田	

展示

「めっちゃ!昆虫展」協力

3月18日(土)～6月25日(日) 期間来場者数:
20,990名

・連携先: 株式会社京阪レジャーサービス(ひらかたパーク)、読売新聞大阪本社

7月11日(火)～9月18日(月・祝) 期間来場者数:
53,870名

・連携先: 佐川美術館、読売新聞大阪本社

夏の特別展示「昆虫館発 古生物の化石と鉱物」～これは、どんな化石かな? 図書館でしらべてみよう～

7月21日～9月20日

・連携先: 橿原市立図書館

「関西文化の日」参加 (無料入館)

11月18日(土)～19日(日) 入館者数: 1,211名

・連携先: 一般財団法人関西観光本部

メディア出演

NHK 奈良放送局「ならナビ」

NHK大阪拠点放送局

6月19日(月) タウナギの生態等に関する取材や解説

出演者: 辻本

NHK 大阪放送局の番組「ほっと関西」

7月8日(土) 「少しでも自然や昆虫に興味を持つ」ということに向けた取材

出演者: 木村

近鉄ケーブルネットワークの番組「KCN 情報発信スタジオ K スタ!」

7月11日(火) 当館や特別展「やばすぎる! セミ展」の紹介

奈良テレビ放送「ゆうドキッ!」

8月3日(木) 昆虫館特別展「やばすぎる! セミ展」の取材

出演者: 池田

NHK 大阪放送局ラジオ生中継

8月3日(木) 特別展「やばすぎる! セミ展」に関して生中継で紹介した

出演者: 池田

NHK 大阪放送局

8月17日(木) クビアカツヤカミキリについての取材

出演者: 池田

FM ヤマト出演

9月6日(水) 特別展「やばすぎる! セミ展」の紹介や昆虫館300万人達成についてのトークを行った

出演者: 池田

奈良テレビ放送

2月23日(金) トピックス展示「新種発見!! スズカヒメマルクビゴミムシ」の取材

出演者: 池田

教育支援活動

モンシロチョウ飼育教材配布

5月8日(月)～5月24日(水) 橿原市内小学校14校 明日香村内小学校1校

富雄北小学校講師依頼

6月6日(火) 奈良市立富雄北小学校4年生: 60名
教員: 3名 地域協議会: 4名

葛城市立新庄中学校による施設見学

7月1日(土) サイエンス部員7名、教員2名

令和5年度飛鳥里山クラブ初年度養成講座講師派遣

7月20日(木) 飛鳥歴史公園内で遭遇する危険生物の種類や遭遇時の対処方法12名

令和5年度博物館実習

8月17日(木)～21日(月) 3名

奈良県立香芝高等学校による見学及び取材

8月30日(水) 生徒4名 教員1名

奈良県立青翔中学校による見学

10月7日(土) 第2学年: 79名 教員: 4名

奈良教育大学による実習

10月28日(土) 学生15名 引率教官1名

桜井市立桜井中学校による職場体験

10月26日(木)～10月27日(金) 3名

桜井市立桜井東中学校による職場体験

10月30日(月)～11月1日(水) 3名

橿原市立白檀中学校による職場体験

2月15日(木)～16日(金) 3名

視察受入

収蔵庫視察

7月25日(火) 奈良県景観自然環境課 1名

行政視察

11月7日(火) 宮城県大河原町 町議会議員 6名

調査活動

八重山諸島採集調査

令和6年2月27日(火)～3月2日(土)

飛鳥地域における昆虫相調査

「カーテン式ライトトラップを用いた走光性昆虫の調査」

実施日:4月22日、5月21日、6月18日、7月23日、8月19日、9月16日、10月16日、11月25日(計8回)

調査地:高取町 高取城跡周辺

生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会調査

「ニッポンバラタナゴ保護増殖試験調査」

実施日:5月18日、6月22日、7月20日、8月10日、9月21日、10月19日、11月16日、12月23日、2月22日、3月14日

調査地:橿原市今井町 環濠内の水域

共同調査者:北川 忠生(近畿大学教授)、中西 亮太(近畿大学大学院)

「ため池の外来種駆除調査」

実施日:12月6日(水)

調査地:観音寺上東池(月倉谷池)(橿原市観音寺町)

印刷物制作活動

橿原市昆虫館刊行物

橿原市昆虫館研究報告 第2号

200部 発行

かしはらしこんちゅうかんニュース ダーウィン

「Darwin 2024年3月」

300部 発行

生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会刊行物

生物多様性啓発パンフレット

1100部 発行 飛鳥地域の小学校3年生対象に配布

業績公表活動

論文・報文

池田大, 2023. ヒメタイコウチの生息域外保全事業について. 昆虫園研究 24:38-42.

辻本始, 2023. 農薬流出事故が起こった河川で見られた魚類とその農薬耐性並びに, 生息数の回復状況について. 橿原市昆虫館研究報告(2):10-15.

木村史明・池田大, 2023. 令和3年度 飛鳥地域における昆虫相調査. 橿原市昆虫館研究報告(2):16-36.

木村史明, 2023. 奈良県で確認された若干の蛾類の記録(2). 橿原市昆虫館研究報告(2):37-39.

池田大, 2023. 三つ目のツグナナフシを発見. 橿原市昆虫館研究報告(2):40-41.

池田大・野川裕司, 2023. 企画展「あつまれ!だんごむし」のアンケート調査結果. 橿原市昆虫館研究報告(2):42-52.

中田勝之・池田大, 2023. 石川県におけるナラアオジョウカイモドキの記録. SAYABANE N. S. (51):31.

池田大, 2023. 明石市で採集されたアカギカメムシ. きべりはむし 46(2):59.

池田大, 2024. 奈良県で採集されたコブナナフシ. 月刊むし(636):52-53.

発表

池田大, 2023. 特別展「やばすぎる!セミ展」をつくる. 日本セミの会 第100回談話会(口頭発表). 2023年9月9日.

辻本始, 2023. 温室のチョウのエサやりにとっても便利な毛糸のぼんぼり. 令和5年度全国昆虫施設連絡協議会(口頭発表). 2023年11月21日.

資料収集保管活動

館員の資料収集

「飛鳥地域における昆虫相調査」

実施日:4月22日、5月21日、6月18日、7月23日、8月19日、9月16日、10月16日、11月25日(計8回)

担当者:木村, 池田

図書資料

刊行物(雑誌 224点、図書 36点)

寄贈資料受領

昆虫標本 1個体 「奈良県産ハラアカコブカミキリ」(岡本悠佑氏:令和5年4月30日)

昆虫標本 1個体 「奈良県産シタバニハゴロモ」

(山下康次氏：令和5年10月28日)

Taxonomy 3 : 551-558.

昆虫標本 30 個体 「セミ類標本」

笹川幸治, 2023. キンキヒメマルクビゴミムシ (昆虫綱：甲虫目：オサムシ科) の新分布記録. 日本生物地理学会会報 78 : 57-59.

(岡本俊治氏：令和5年11月16日)

収蔵標本を利用した研究論文

Kôji Sasakawa, 2023. A New and Little-Known Species of the Ground Beetle Genus *Nebria* Subgenus *Falcinebria* Ledoux and Roux, 2005 (Coleoptera: Carabidae) from Japan.

生体育成管理活動

チョウ類育成管理

令和5年度月間放蝶数

種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
アゲハチョウ科														
ジャコウアゲハ	61	44	41	50	26	17	47	40	41	43	43	71	524	43.67
ナミアゲハ	0	79	23	9	0	0	51	14	9	20	11	2	218	18.17
キアゲハ	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0.75
シロオビアゲハ	139	345	175	136	95	184	186	145	184	151	119	241	2100	175.00
モンキアゲハ	0	0	2	12	3	0	0	0	0	0	0	0	17	1.42
クロアゲハ	6	38	106	19	27	49	44	2	5	0	1	3	300	25.00
ナガサキアゲハ	0	0	1	0	0	1	0	66	0	21	10	1	100	8.33
カラスアゲハ	0	0	5	2	0	50	0	0	1	1	2	3	64	5.33
ミヤマカラスアゲハ	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.17
ギフチョウ	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	1.08
シロチョウ科														
キチョウ	59	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	89	7.42
ツマベニチョウ	2	17	9	47	13	55	2	127	7	54	24	31	388	32.33
マダラチョウ科														
ヒメアサギマダラ	23	0	0	0	0	0	0	0	0	2	26	1	52	4.33
リュウキュウアサギマダラ	94	94	93	60	93	165	147	178	124	126	87	91	1352	112.67
スジグロカバマダラ	2	1	0	19	1	8	0	4	8	87	43	25	198	16.50
オオゴマダラ	134	165	144	157	148	109	75	208	210	223	278	202	2053	171.08
ツمامラサキマダラ	145	16	27	10	7	8	18	10	7	15	35	7	305	25.42
タテハチョウ科														
ツマグロヒョウモン	0	0	27	3	0	0	0	0	1	0	0	0	31	2.58
アオタテハモドキ	0	0	0	0	73	11	0	0	0	0	0	0	84	7.00
カバタテハ	235	284	78	110	81	52	130	123	250	53	111	78	1585	132.08
オオムラサキ	0	0	100	150	0	0	0	0	0	0	0	0	250	20.83
タイワンキマダラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0.17
計	912	1093	832	784	567	709	700	917	877	796	790	759	9736	811.33

※この他にツمامラサキマダラ・キチョウは放蝶温室内にても、多数発生している。

食草等育成管理

食草栽培生育状況 ○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良	
◎食草栽培温室≪約 180 m ² ≫	
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	○
リュウキュウガシワ	△
ツルモウリンカ	○
ギョボク	○
ヒマ	○
セイタカスズムシソウ	○
トウワタ	△
サツマイモ	△
リュウキュウウマノスズクサ	△
◎N温室≪約 70 m ² ≫	
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	×
リュウキュウガシワ	×
ツルモウリンカ	△
リュウキュウウマノスズクサ	△
ギョボク	○
ガジュマル	○
◎ガラス温室≪約 100 m ² ≫	
植 物 名	生 育 状 況
柑橘類 (ブンタン・レモン)	×
ギョボク	○
ヘンルーダ	△
◎パイプハウス	
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	×
リュウキュウガシワ	×
ツルモウリンカ	○
◎周辺の畑・その他	

植 物 名	生 育 状 況
柑橘類 (ハッサクほか2種)	○
キハダ	○
カラスザンショウ	○
サンショウ	△
ヘンルーダ	△
コクサギ	○
カラタチ	○
エノキ	○
イヌビワ	○
カンアオイ	○
ウマノスズクサ	△
ギョボク	○

蝶の幼虫が食べる食草の栽培は、主にオオゴマダラの食草ホウライカガミやリュウキウアサギマダラの食草ツルモウリンカ、スジグロカバマダラの食草リュウキウガシワを食草栽培温室やパイプハウス、N温室の3ヵ所で栽培を行った。

また、アゲハチョウ科の食草の柑橘類 (ハッサクなど栽培ミカン類) やカラスザンショウ・キハダは主に周辺の畑で栽培し、鉢植えとしてガラス温室でヘンルーダの栽培も行った。

他には、カバタテハの食草ヒマヤツマベニチョウの食草ギョボクも食草栽培温室やN温室のほか、暖かい季節には野外でも栽培を行った。

食草の生育状況は、ツルモウリンカやギョボク、ガジュマル、ヒマ、柑橘類は比較的順調である一方、リュウキウガシワ、リュウキウウマノスズクサなどはキョウチクトウアブラムシやコナカイガラムシなどの害虫がよく出ているため、剪定や弱い殺虫剤などを用いて対策している。N温室のホウライカガミやリュウキウガシワ、ガラス温室の柑橘類は害虫による被害などにより生育不良となっているが、他の場所の食草を利用したり飼育方法を工夫することにより、飼育に支障が出ないようにした。

周辺の畑の柑橘類で最近ヤノネカイガラムシが増えてきた。現在のところ食草が足りない状況ではないが、今後どうなるか注視している。また、ハッサクの一部で古い木の樹勢が弱くなってきたため、4本新しい株に植え替えた。

蜜源植物生育状況

・ランタナ（クマツヅラ科）

令和4年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・ペンタス（アカネ科）

令和4年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・ヒヨドリバナ（キク科）

マダラチョウにPAという物質を供給する重要な植物であるが、令和4年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・フジバカマ（原種）（キク科）

季節ものであるため導入は秋に限られるが、ヒヨドリバナ同様マダラチョウが非常にこの花を好むため、導入した際には多くのマダラチョウが吸蜜に訪れた。

・ユーパトリウム（キク科）

こちらもヒヨドリバナに近縁の花で、かつヒヨドリバナの少ない冬場に花が咲くため、冬場のPA摂取植物として有効である。放蝶温室に地植えにしたものが大きな株になり多く開花した。

・サントナカ（アカネ科）

令和4年度同様、コナカイガラムシが発生しやすく開花させるまでに少し難があったが、開花して導入すれば多くのアゲハチョウが吸蜜に訪れた。

・ハイビスカス（アオイ科）

令和4年度と同様、生育は良好であるが、地植えのものが少し花が少なかったかもしれない。

・ヘリオトロープ（ムラサキ科）

令和4年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・チリメンナガボソウ（クマツヅラ科）

令和4年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・カラシコエ（ベンケイソウ科）

鉢物のみ栽培し、短日植物のため花は秋頃から冬にかけて咲く花である。害虫発生と株が古くなったことにより少し不調気味であった。

・トウワタ（ガガイモ科）

鉢物のみ栽培しており、花が咲けば蜜源となるが、葉はツمامラサキマダラの食草となるため、温室内で自然に成長した幼虫は幼虫の展示となっている。ただし花も食べるため、幼虫がつくと花を長く維持するのが難しかった。また、キョウチクトウアブラムシが発生しやすいの

で、手で潰したりピレトリンの殺虫剤を使うなどしたりして抑制に努めた。株が古くなってきて弱ってきたものは適宜実生苗を作り、交換した。

他にもブットレアやニンジンボク、タイワンレンギョウ（デュランタ）などの鉢を少数ではあるが花が咲き次第放蝶温室に導入している。また令和3年度より導入している赤と白の毛糸のボンボンにスポーツ飲料を染み込ませたものを常時温室内に設置することにより、花の少ない冬でもチョウに多くのエサを与えることができるようになったため、冬に購入する花を減らしてコストダウンを図っている。

生体展示室関連育成管理

令和5年度 生態展示

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
水槽①	水の中に棲む虫たち（カメムシの仲間）													
	・タガメ ・ミズカマキリ ・ヒメミズカマキリ													
水槽② (カメラ組込)	水の中に棲む虫たち（コウチュウの仲間）													
	・ゲンゴロウ ・コガタノゲンゴロウ ・クロゲンゴロウ ・トビイロゲンゴロウ ・ハイイロゲンゴロウ ・ガムシ													
陸槽① (カメラ組込)	樹液に集まる昆虫													
	・ヘラクレスオオカブト ・アクティオンゾウカブト ・カブトムシ ・ニジイロクワガタ ・ギラファノコギリクワガタ ・スマトラヒラタクワガタ ・オオクワガタ +・ノギリクワガタ・ミヤマクワガタ													
陸槽②	カマキリ													
	・ハナカマキリ ・メダマカレハカマキリ													
陸槽③	生態展示の旬な虫													
	・タイワンクツワムシ						・シロモンオオサシガメ							
陸槽④	ミニ企画													
	八重山地方の虫 3/14-7/2 (鳥廻)			なつのもし 7/4-9/3 (谷岡)			秋の鳴く虫を楽しもう! 9/4-11/12 (瀬川)			だんごもし・ごきぶり 11/14-3/17 (池田)			むし子のむし コマ3/19- (谷岡)	
	9種 クロカタゾウムシ、ツダナナフシ、コブナナフシ、ナナホシキンカメムシ、ミヤコキンカメムシ、ヤエヤマサソリ、タイワンサソリモドキ、ヤエヤママダラゴキブリ、サキシマヒラタクワガタ			14種 ナナフシ、エダナナフシ、キリギリス、ノコギリクワガタ、ミヤマクワガタ、ヒラタクワガタ、カナブン、コフキコガネ、タマムシ、ミヤマカマキリ、シロスジカマキリ、ルリボシカマキリ、フェモラータオオモモトハムシ、オオミスアオ			童謡『虫の声』に登場する5種 マツムシ、スズムシ、コオロギ（エンマコオロギ）、ハヤシノウマオイ、クツワムシ			7種 オカダンゴムシレッド、オカダンゴムシアルビノ、パークチョンネッタイロシビロダンゴムシ、ルリゴキブリ、センチュリオンゴキブリ、キョウトゴキブリ、レッドローチ			ツダナナフシ、コブナナフシ、クロカタゾウムシ、ナナホシキンカメムシ、タイワンサソリモドキ	
	絶滅のおそれのある昆虫の生息域外保全事業													
	・ヒメタイコウチ													
新館展示室①(中)	ナナフシのへや ・ヤエヤマトガリナナフシ													
ロビー	エントランス展示 ・スズムシ													

令和5年度 生態展示等での昆虫等の飼育状況																													
グループ	種名(和名)	備考	R4.3末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他													
コウチュウ目(カブト・クワガタ類)			以下、左：♂(オス) 右：♀(メス) の個体数(多：50頭以上)																										
カブトムシ類	カブトムシ		5	7	10	9	9	9	17	10	18	21	16	17	13	14	2	12	2	8	1	2	1	1	5	1	13	4	
クワガタムシ類	オオクワガタ		11	23	11	15	10	16	12	16	11	15	11	16	10	14	10	15	8	15	8	14	7	13	7	9	6	8	
	ヒラタクワガタ	本土亜種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヒラタクワガタ	サキシマヒラタクワガタ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ミヤマクワガタ		0	0	0	0	0	0	0	4	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ノコギリクワガタ		0	0	0	0	0	1	1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チビクワガタ		0		6		5		6		6		5		4		3		3		3		3		3		3		3
水生昆虫			以下、左：成虫 右：幼虫の個体数(多：50頭以上)																										
カメムシ目	タガメ		18	0	14	多	13	44	33	0	28	0	26	0	25	0	24	0	24	0	24	0	24	0	23	0	22	0	
	ミズカマキリ		3	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ヒメミズカマキリ		11	0	11	0	9	0	6	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コウチュウ目	ゲンゴロウ		3	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
	クロゲンゴロウ		12	0	10	0	8	6	8	0	9	0	7	0	5	0	4	0	4	0	3	0	3	0	3	0	3	0	
	コガタノゲンゴロウ		11	0	10	30	10	37	21	0	39	0	36	0	35	0	35	0	33	0	33	0	33	0	18	0	18	0	
	トビイロゲンゴロウ		20	0	20	0	20	0	20	0	20	0	20	0	20	0	17	0	13	0	10	0	10	0	10	0	15	0	
	ハイイロゲンゴロウ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
	ガムシ		2	0	1	0	5	0	4	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
陸上昆虫			以下、左：成虫 右：幼虫の個体数(多：50頭以上)																										
ゴキブリ目	オオゴキブリ		多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ヤエヤマオオゴキブリ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ヤエヤマダラゴキブリ		3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ナナフシ目	ヤエヤマトガリナナフシ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ツダナナフシ	八重山諸島	35	多	40	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	コブナナフシ		多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
バッタ目	タイワンクツワムシ	八重山諸島	多	多	30	多	20	多	25	多	多	多	多	25	20	15	25	多	25	多	30	多	30	多	多	多	多	多	
	ムニンエンマコオロギ	小笠原諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	スズムシ		多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
カメムシ目	ナナホシキンカメムシ	八重山諸島	10	0	10	0	11	多	35	20	39	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	
コウチュウ目	オキナワクワゾウムシ		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クロカタゾウムシ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
その他	ヤエヤマサソリ	八重山諸島	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	タイワンサソリモドキ	八重山諸島	3	5	3	5	2	5	2	5	2	2	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
外国産			以下、左：♂(オス) 右：♀(メス) の個体数(多：50頭以上)																										
コウチュウ目	ヘラクレスオオカブト	ヘラクレス亜種	0	0	2	0	3	0	4	3	5	3	4	2	4	4	4	3	3	3	1	0	2	0	2	0	2	0	
	ヘラクレスオオカブト	リッキー亜種	10	7	4	4	7	7	6	5	5	5	4	3	5	3	4	3	1	2	0	2	1	2	1	4	1	4	
	アクティオンゾウカブト		0	0	1	0	2	1	1	4	3	2	2	2	2	2	1	2	1	3	1	3	0	1	0	0	1	0	
	エレファスゾウカブト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	ヒラタクワガタ	スマトラヒラタクワガタ	3	0	3	3	3	4	3	4	2	4	0	4	1	4	1	4	1	4	1	5	1	6	1	4	1	0	
	ギラファノコギリクワガタ	亜種不明	8	3	9	3	10	3	10	3	7	3	5	3	5	1	5	1	5	1	4	1	3	1	2	0	1	0	
	ニジイロクワガタ		4	6	4	5	4	3	5	3	4	2	7	3	5	3	7	5	6	7	7	5	8	6	8	6	9	5	
	キンイロヒラズカナブン		16	31	10	21	15	15	14	16	5	18	10	15	24	25	19	16	11	7	2	1	1	1	1	1	2	4	13
	シュルツサスマタカナブン		1	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クビワオオツノカナブン		2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	1	0	0
	シロヘリオオツノカナブン		0	1	0	1	0	1	0	2	0	11	1	11	1	8	1	4	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	外国産			以下、左：成虫 右：幼虫の個体数(多：50頭以上)																									
	ゴキブリ目	トルキスタンゴキブリ	レッドローチ	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多
アルゼンチンモリゴキブリ		デュビア	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	エサ用
カマキリ目	メダマカレハカマキリ		4	多	7	多	11	多	35	20	39	9	36	3	25	20	15	多	11	多	7	多	4	多	16	多	26	多	
	ハナカマキリ		21	多	21	多	16	多	26	多	38	多	46	20	44	多	35	多	45	多	41	多	29	多	32	多	38	多	
カメムシ目	キノハダカマキリ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	2	1	1	2	0	2	0		
	シロモンオオサシガメ		多	多	多	多	多	30	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
その他	チリアンコモンタランチュラ		3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	
グループ	種名(和名)	備考	R1.3末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他													

生息域外保全活動

【ヒメタイコウチ】

令和元年から奈良県版レッドデータブックで絶滅寸前種に指定されているヒメタイコウチの生息域外保全事業を奈良県より受託してきたが、令和4年度から委託契約を締結し、消耗品や人件費等の委託料が交付されたうえで引き続き生息域外保全事業を実施した。

1. 事業依頼元

奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課

2. 事業期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

3. 事業対象種

種名：ヒメタイコウチ

学名：Nepa hoffmanni

分類：カメムシ目タイコウチ科

奈良県版 RL ランク：絶滅寸前種

4. 事業目的

ヒメタイコウチは、奈良県内では五條市、大淀町

の数カ所でのみ生息が確認されており、個体数が少なく、生息地が点在している状況であるため、奈良県希少野生動植物保護に関する条例に基づきヒメタイコウチ保護管理事業の一環として、緊急的に種の保存を図ることを目的に、奈良県と橿原市昆虫館が連携し生息域外保全事業を実施する。

本業務は、飼育下個体群の危険を分散し、継続して飼育下個体群を維持することにより種の保存を図るとともに、将来において野生復帰が必要な場合に備えて、飼育繁殖技術の確立、飼育下個体群の生態等科学的知見の集積を目的とする。

5. 事業経過

ヒメタイコウチ域外保全の担い手プログラムに協力し、プログラムに参加する奈良学園と奈良女子大学附属中等教育学校に飼育指導を行ったほか、随時飼育相談対応した。また令和5年度末の取り組み報告会では各校との意見交換を行った。令和3～4年に昆虫館で累代した2世代の成虫、計15個体を用いて繁殖を行い、成虫15個体の産出に至った。

他施設との生体交換

昆虫施設等との生体交換		
発送		
年月日	施設名等	内容
令和5年4月10日	丸瀬布昆虫生態館	オオゴマダラ卵 150、幼虫 14 ジャコウアゲハ卵 65 シロオビアゲハ卵 130、幼虫 10
4月18日	井頭公園花ちょう遊館	オオゴマダラ卵 250、若齢幼虫 40
10月16日	ぐんま昆虫の森	メダマカレハカマキリ成虫 4、幼虫 10、卵 4
11月8日	伊丹市昆虫館	ユーパトリウム・メガロフィルム 2鉢
受領		
令和5年4月15日	丸瀬布昆虫生態館	ヘラクレスオオカブト成虫 2
4月16日	伊丹市昆虫館	ツマベニチョウ卵 150
10月11日	ぐんま昆虫の森	ハナカマキリ成虫 5、幼虫 8 キノハダカマキリ幼虫 5

施設の概要・管理運営

1 施設概要

- 施設名 橿原市昆虫館
- 所在地 奈良県橿原市南山町 624 番地（香久山公園内）
- 構造・規模 管理棟・展示棟 — 鉄筋コンクリート造地下一階地上二階
温室棟 — 鉄骨造平屋建一部地下
新館棟 — 鉄筋コンクリート地上三階建
渡り廊下 — 鉄骨鉄筋コンクリート造

■敷地面積 52,156㎡

■建築面積 2,721.61㎡

《内 訳》

本館	渡り廊下	新館棟	多目的広場	蜜源温室	食草温室	合計
1,971.3	40.42	237.96	150.18	141.75	180.00	2,721.61

(単位：㎡)

■延床面積 3,466.47㎡

《内 訳》

	管理棟	展示棟	温室棟	新館棟	渡り廊下	合計
地下1階	184.43		213.92			398.35
1階	384.61	833.59	694.09	237.96		2,150.25
2階	285.96	287.24		61.35	45.36	679.91
3階				237.96		237.96
合計	855.00	1,120.83	908.01	537.27	45.36	3,466.47

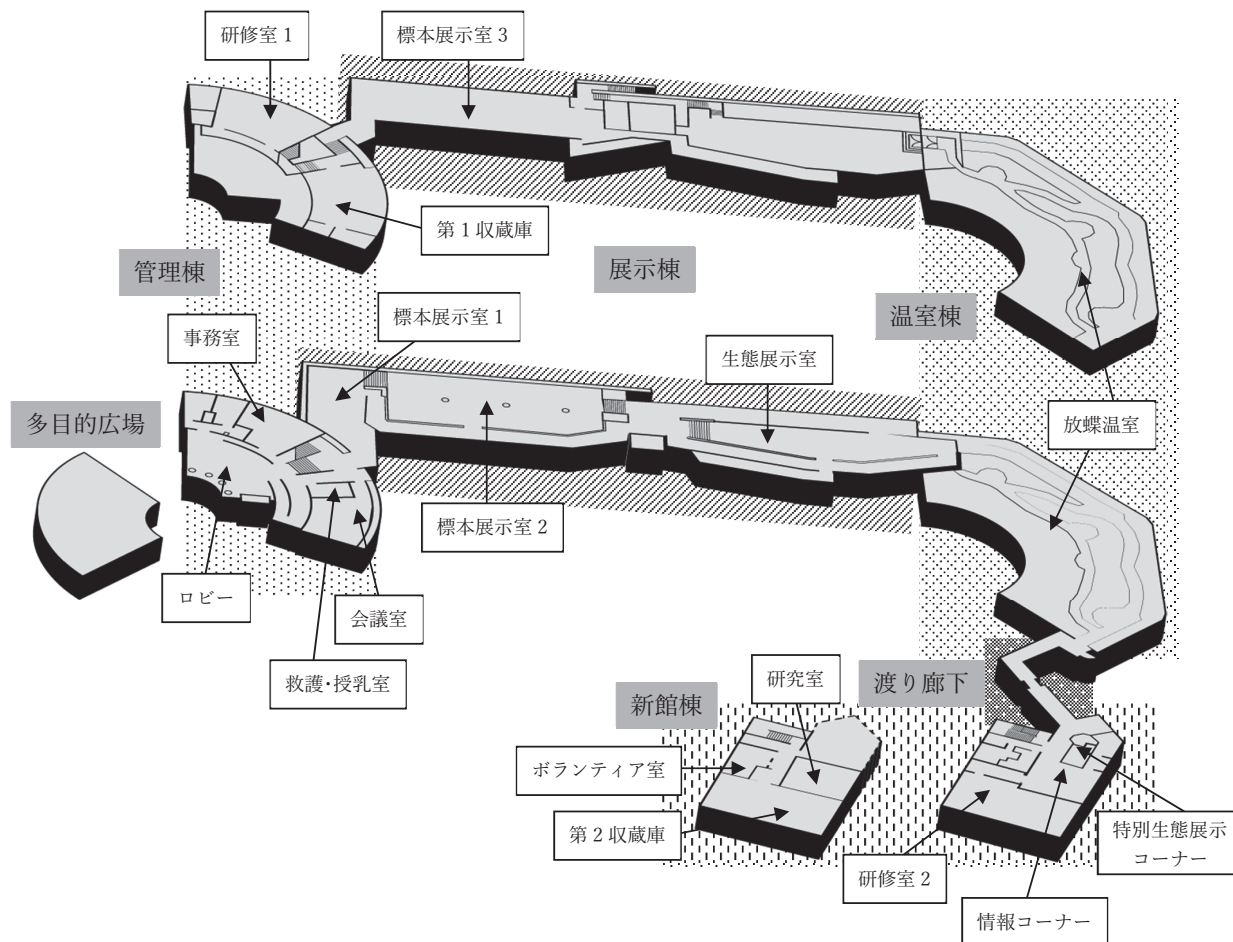
(単位：㎡)

【各室面積表】

	室名	地下	1階	2階	3階	合計
管理棟	ロビー		127.63			127.63
	事務室		64.38			64.38
	会議室		66.44			66.44
	救護・授乳室		13.13			13.13
	研修室 1			83.88		83.88
	第一収蔵庫			81.72		81.72
	機械室	120.45		65.29		185.74
	その他	63.98	113.03	55.07		232.08
	合計	184.43	384.61	285.96		855.00
展示棟	標本展示室・1		120.16			120.16
	標本展示室・2		275.16			275.16
	標本展示室・3			221.04		221.04
	生態展示室		163.81			163.81
	メンテ室		51.78			51.78
	その他		222.68	66.20		288.88
	合計		833.59	287.24		1,120.83
温室棟	放蝶温室		496.99			496.99
	食草温室		197.10			197.10
	飼育準備室	113.61				113.61
	その他	100.31				100.31
	合計	213.92	694.09			908.01
新館棟	研修室 2				79.56	79.56
	準備室				13.88	13.88
	特別生態展示コーナー				26.73	26.73
	情報コーナー				25.94	25.94
	研究室		37.51			37.51
	第二収蔵庫		84.00	61.35		145.35
	前室		7.15			7.15
	ボランティア室		18.51			18.51
	倉庫 1		11.04			11.04
	倉庫 2		7.61			7.61
	ピロティ		55.60			55.60
	その他		16.54		91.85	108.39
合計		237.96	61.35	237.96	537.27	
付帯施設	食草温室		180.00			180.00
	蜜源温室		141.75			141.75
	多目的広場		145.23			145.23
	合計		466.98			466.98

(単位：㎡)

2 見取り図



石垣島圃場

・圃場の概要

場所	沖縄県石垣市字宮良 1090 番地		
土地面積	2,337㎡		
施設関係	管理棟 (鉄筋コンクリート造平屋建)	80.09	㎡
	食草栽培用カンレイシャハウス (間口 12 m × 奥行 60 m)	720	㎡
	蝶の飼育用ゲージ (間口 4 m × 奥行 4.5 m)	18	㎡

・食草栽培用カンレイシャハウス内に植え付けている食草と蝶名

食 草	蝶
ホウライカガミ	オオゴマダラ
リュウキュウガシワ	スジグロカバマダラ
ツルモウリンカ	リュウキュウアサギマダラ
ギョボク	ツマベニチョウ・タイワンシロチョウ
ウマノスズクサ類	ジャコウアゲハ・ベニモンアゲハ
セイタカスズムシソウ	コノハチョウ・タテハモドキ

カンレイシャ外に植え付けている食草と蝶を集めるために植えている吸蜜植物など

食 草	ガジュマル・ギョボク・柑橘類・ハネセンナ・ハブソウ オオイワガネ・ホウライカガミ・ツルモウリンカ・エノキ ヒマ・リュウキュウガシワ・トウワタ・サツマイモ 等
吸蜜植物	ハイビスカス・ランタナ・ペントス・ブーゲンビレア ツンベルギア エレクタ・サンタンカ・タイワンレンギョウ 等

組 織

機構（令和5年4月1日現在）

橿原市 魅力創造部 昆虫館

職員名簿		係 長	辻本 始（学芸員）
館 長	久米 智（学芸員）	係 長	山本 寿子
課長補佐	松村 忠志（学芸員）	主 査	久保 圭史
副統括（専門官）	木村 史明（学芸員）	技 師	池田 大（学芸員）

橿原市昆虫館協議会

令和5年度橿原市昆虫館協議会委員名簿		
氏 名	役 職	備 考
宮 武 頼 夫	元大阪市立自然史博物館館長	学識経験者
服 部 保	兵庫県立大学名誉教授	学識経験者
吉 村 昭 信	奈良県病虫害防除所所長	関係行政機関
國 本 佳 範	元日本応用動物昆虫学会評議員	学識経験者
伊 藤 ふくお	昆虫生態写真家・ならむしの会会長	学識経験者
森 田 千 景	橿原市地域家庭教育推進協議会会長	家庭教育の向上に資する活動を行う者
清 水 孝 夫	橿原市南山町総代	地域代表者
前 田 善 彦	橿原市小学校校長会代表 (橿原市立香久山小学校長)	学校教育及び社会教育の関係者

(敬称略)

入館者数・入館料収入

令和5年度檜原市昆虫館利用状況

入館者数

84,188 人

内 訳	個人	団体	割引・特別割引 (スルッとKANSAI)		障害者	介護者	飛鳥・万葉 お楽しみ/お歌 歩ケクーポン	昆虫館友の会	南阪奈割引 JAF割引	合 計
有料	59,324 人	7,627 人	0 人	3 人	1,648 人	1,169 人	47 人	0 人	0 人	69,818 人
大人	37,588 人	74 人	0 人	0 人	784 人	1,110 人	39 人	0 人	0 人	39,595 人
学生	505 人	8 人	0 人	3 人	56 人	1 人	1 人	0 人	0 人	574 人
小人	21,231 人	7,545 人	0 人	0 人	808 人	58 人	7 人	0 人	0 人	29,649 人
無料										14,370 人
視察・下見 引率者										1,697 人
無 料 者										1,164 人
団体三才児										11,232 人
土曜無料者										277 人

開 館 日 数

313 日

一日平均入館者数

265 人

一日最高入館者数 令和5年8月13日

1,407 人

一日最低入館者数 令和5年12月6日

11 人

令和5年度 月別 檜原市昆虫館利用状況集計表

月	入 館	延 入 館	売上額(円)	延売上額(円)
	人員(人)	人 員(人)		
4	5,145	5,145	1,488,420	1,488,420
5	9,144	14,289	2,312,230	3,800,650
6	7,002	21,291	1,733,060	5,533,710
7	9,312	30,603	2,810,600	8,344,310
8	14,454	45,057	4,366,940	12,711,250
9	8,486	53,543	2,263,590	14,974,840
10	7,416	60,959	1,767,930	16,742,770
11	5,385	66,344	1,092,160	17,834,930
12	2,537	68,881	702,880	18,537,810
1	4,334	73,215	1,340,720	19,878,530
2	5,064	78,279	1,490,990	21,369,520
3	5,909	84,188	1,743,870	23,113,390
合計	84,188		23,113,390	

条例等

○檜原市昆虫館条例

平成元年 6 月 21 日条例第 21 号

改正 平成 9 年 3 月 26 日条例第 3 号

平成 9 年 12 月 24 日条例第 25 号

平成 13 年 3 月 27 日条例第 9 号

平成 15 年 9 月 30 日条例第 17 号

平成 17 年 6 月 30 日条例第 20 号

平成 21 年 12 月 25 日条例第 32 号

平成 24 年 3 月 28 日条例第 6 号

平成 25 年 12 月 26 日条例第 26 号

令和元年 6 月 28 日条例第 13 号

令和 2 年 12 月 25 日条例第 40 号

令和 3 年 12 月 24 日条例第 31 号

(設置)

第 1 条 檜原市は、昆虫をはじめとする動植物に関する自然史資料の収集、保管（育成を含む）、展示を行うことにより市民の教養文化の向上に寄与するとともに、合わせてこれらの資料に関する調査研究を行うため、昆虫館を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 昆虫館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
檜原市昆虫館	檜原市南山町624番地

(事業)

第 3 条 昆虫館において行う事業は、次のとおりとする。

- (1) 実物、標本、模型、文献、図書、図表、写真、フィルム等（以下「昆虫館資料」という。）の収集、保管、展示及び閲覧
- (2) 飼育、繁殖及び栽培に関する技術的研究及び生態展示
- (3) 展覧会、講習会、実習会、研究集会等の開催及び指導
- (4) 昆虫館資料及び自然史に関する調査研究並びにその結果の公開
- (5) 昆虫館資料の貸出
- (6) 他の昆虫館、学校、学会その他の関係機関との連絡及び協力
- (7) その他昆虫館設置の目的を達するために必要な事業

(入館の制限等)

第 4 条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

- (2) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。
- (3) 昆虫館資料、施設又は設備を損傷させるおそれがあるとき。
- (4) 温室内の植物を採取し、又は損傷したとき。
- (5) 昆虫館内の動物を捕獲し、又は殺傷したとき。
- (6) 管理上必要な指示に従わないとき。
- (7) その他支障があると認めるとき。

(観覧料)

第 5 条 昆虫館の展示場に入館しようとする者（以下「入館者」という。）は、別表に掲げる観覧料を納めなければならない。

2 市長は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けた者及びその介護を行う者
- (2) その他市長が特別の理由があると認める者
- 3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

第 6 条 昆虫館に檜原市昆虫館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10 人以内とする。
- 3 委員は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、関係行政機関の職員並びに地域の代表者の中から市長がこれを任命する。
- 4 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 第 1 項から前項までに定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(委任)

第 7 条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、檜原市昆虫館の供用開始の日から適用する。

附 則（平成 9 年条例第 3 号）

この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 9 年条例第 25 号）

- 1 この条例は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この条例の施行の際、現にこの条例による改正前の檜原市使用料条例、檜原市福祉センター条例、檜原市昆虫館設置及び管理に関する条例、檜原市斎場設置及び管理に関する条例、檜原市公園条例、

檜原市立体育館設置及び管理に関する条例、檜原市万葉の丘スポーツ広場条例、檜原市まちなみ交流センター設置及び管理に関する条例又はかしはら万葉ホール条例の規定により使用の承認又は許可を受けている者の当該使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成13年条例第9号）

- 1 この条例は、平成13年7月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際、現にこの条例による改正前の檜原市公園条例又は檜原市昆虫館設置及び管理に関する条例の規定により使用の許可を受けている者の当該使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成15年条例第17号抄）
（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成17年条例第20号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成21年条例第32号）

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成24年檜原市条例第6号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成25年条例第26号抄）

（施行期日）

第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

第2条 次条及び附則第4条に定めるものを除き、この条例による改正後の各条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に行う資産の譲渡等（消費税法（昭和63年法律第108号）第2条第1項第8号に規定する資産の譲渡等をいう。以下同じ。）について適用し、施行日前に行った資産の譲渡等については、なお従前の例による。

附 則（令和元年6月28日条例第13号）

（施行期日）

第1条 この条例は、令和元年10月1日から施行する。ただし、附則第3条の規定は公布の日から施行する。

（経過措置）

第2条 この条例の施行の際現にこの条例の規定による改正前の各条例（以下「旧条例」という。）の規定により使用の承認を受けている者の当該使用に係る使用料（入館料、管理料、土石採取料等を含む。）又は旧条例の規定により申請、申込み等をしている者の当該行為に係る手数料については、なお従前の例による。

第3条 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用に係る利用料金の額の定めは、施行日前においても、この条例による改正後の各条例の規定による使用料の額を超えない範囲内において、行うことができる。

附 則（令和2年12月25日条例第40号）

1 この条例は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第3条、第4条（かしはら万葉ホール条例第16条第2項第1号の改正規定に限る。）、第6条、第15条、第17条、第18条（檜原市新沢千塚公園拠点施設条例第8条第1号の改正規定に限る。）及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）において、現にこの条例（前項ただし書に規定する各規定を除く。）による改正前の各条例（以下「旧条例」という。）の規定により使用の承認を受けている者の当該使用に係る使用料又は旧条例の規定により申請、申込み等をしている者の当該行為に係る手数料については、なお従前の例による。

3 施行日以後の使用に係る利用料金の額の定めは、施行日前においても、この条例による改正後の各条例の規定による使用料の額を超えない範囲内において、行うことができる。

附 則（令和3年12月24日条例第31号抄）
（施行期日）

第1条 この条例は、令和4年4月1日から施行する。
（後略）

（経過措置）

第2条 この条例の施行前に、この条例による改正前の各条例の規定によりなされた行為又は手続は、この条例による改正後の各条例の相当する規定によりなされた行為又は手続とみなす。

別表（第5条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）	
	個人	団体
大人	520円	左欄に掲げる額の10パーセントを減じた額とする。ただし、100人以上の団体の場合は、左欄に掲げる額の30パーセントを減じた額とする。ただし、これらの額に10円未満の端数がある場合については、その端数金額を切り捨てた額とする。
学生	410円	
小人	100円	

備考

- 1 学生とは、高等学校、大学及びこれらに準ずるものの生徒及び学生をいう。
- 2 小人とは、幼稚園、小学校、中学校及びこれらに準ずるものの園児、児童及び生徒等をいう。

- 3 団体とは、30人以上で責任者が引率している場合をいう。

昆虫館関連団体 榎原市昆虫館友の会

■会 長 前田 一郎

令和5年度行事報告

日程	行事名	内容	場所	参加者数
4月8日(土)	スタッフミーティング	行事の打合せ・準備作業など	昆虫館	
4月16日(日)	●春の虫観察会	春の虫観察	昆虫館から万葉の森	41名(大人25名、小人16名)
5月14日(日)	●めっちゃ昆虫展見学	昆虫展の見学	ひらかたパーク	13名(大人10名、小人3名)
5月27日(土)	スタッフミーティング	行事の打合せ・準備作業など	昆虫館	
6月4日(日)	●ミニむし祭り	セミの模型作り	昆虫館	
6月17日(土)	●オオムラサキ観察会	オオムラサキの観察	明日香村平田	17名(大人11名、小人6名)
7月8日(土)	スタッフミーティング	行事の打合せ・準備作業など	昆虫館	
7月16日(日)	●夏の夜の虫観察会	夏の夜の虫観察	まほろば健康パーク	37名(大人23名、小人14名)
8月12日(土)	スタッフミーティング	行事の打合せ・準備作業など	昆虫館	
8月13日(日)	●生き物の名前を調べる会	夏休みの自由研究サポート	昆虫館	
8月27日(日)	●移動昆虫調査会	イチモンジセセリ、アサギマダラ、アキアカネなどの移動昆虫調査会【合同調査会】	大和葛城山	23名(大人14名、小人9名)
9月9日(土)	スタッフミーティング	行事の打合せ・準備作業など	昆虫館	
9月17日(日)	●秋の虫観察会	秋の虫観察	藤原宮跡	28名(大人18名、小人10名)
10月7日(土)	スタッフミーティング	行事の打合せ・準備作業など	昆虫館	
10月15日(日)	●博物館見学	博物館施設の見学など	貝塚市立自然遊学館	16名(大人10名、小人6名)
11月11日(土)	スタッフミーティング	行事の打合せ・準備作業など	昆虫館	
11月18-19日(土・日)	●大阪自然史フェスティバル	ブース出展	大阪市立自然史博物館	来場者数19,000人
12月2日(土)	スタッフミーティング	行事の打合せ・準備作業など	昆虫館	
12月10日(日)	●冬の虫観察会	冬の虫観察	五万人の森公園(五條市)	43名(大人25名、小人18名)
令和6年 1月13日(土)	スタッフミーティング	来年行事、総会など打ち合わせ	昆虫館	
2月3日(土)	(評議員会)	総会打合せ、来年度行事計画作成	昆虫館	
2月24日(土)	スタッフミーティング	総会打合せ、来年度行事計画作成	昆虫館	
3月3日(日)	●2023年度総会		昆虫館	31名(大人25名、小人6名)
3月16日(土)	スタッフミーティング	★入会案内、総会資料、行事予定、会員証発行、春の虫観察会打合せ	昆虫館	

昆虫館関連団体 虫いっぱいの里山づくり隊

■会 長 宮武 頼夫

1. 虫いっぱいの里山作り隊会則

(名称及び事務局)

第1条 会の名称は虫いっぱいの里山づくり隊とし、事務局を檜原市昆虫館（以下「昆虫館」という）内に置く。

(目的)

第2条 本会は昆虫館周辺の檜原市が所有する公園および丘陵地において、虫いっぱいの里山を目指し、里山環境の整備を行い、自然や生き物を保護・保全または再生し、地域の子も達や住人が安全かつ安心して自然に親しむことのできる場所を作ることを目的とする。

(活動内容)

第3条 本会は昆虫館等との連携により次の活動を行う。

- (1) 昆虫をはじめ、多様な生物が生息できる里山環境整備。
- (2) 昆虫や自然に親しみ、会員相互の交流、親睦を深めるための自然環境教育等の普及活動。
- (3) 昆虫館来館者に対して昆虫への理解を促進するための館内案内及び昆虫館主催行事の補助活動。

(会員)

第4条 本会は第2条の主旨に賛同するボランティアにて構成する。

(役員)

第5条 本会に代表を1名置き、任期は1年とする。ただし再任を妨げない。

(運営及び会計)

第6条 本会の運営は会員が自主的に行う。

- (1) 本会の経費は寄付金その他の収入をあてる。ただし、収入がない場合は檜原市の助成を受けるものとする。
- (2) 会計年度は4月1日に始まり、翌年の3月末日に終わる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか必要な事項はその都度定める。

附則 この会則は2005年7月1日から施行する。
2011年4月1日一部改正

2. 活動状況

年月日	活 動 内 容
4月12日	活動計画の確認・観察路整備
4月23日	下草刈り・笹刈
5月5日	カブトムシ作りイベント
5月28日	下草刈り・笹刈
6月4日	蝶ブローチ作り
6月25日	観察路整備
7月12日	下草刈り・笹刈
7月23日	観察路整備・下草刈り
9月13日	花壇の整理
9月24日	下草刈り・笹刈
10月11日	観察路ポイント表示板の更新
10月22日	案内板の製作・設置
11月8日	笹刈
11月26日	クリスマスリース作り
12月13日	ミニ門松作り準備
12月24日	ミニ門松作りイベント
令和6年	観察路整備
1月10日	
1月28日	竹籬作り準備
2月14日	竹籬作り準備
2月25日	竹籬作りイベント
3月13日	笹刈
3月24日	来年度計画の検討

・その他 適宜、花壇整備を行った